

ジュニア賞

社会を変えることができる人になろう

寺川 兼人 (高校3年生:神奈川県)

このゲームは、これから社会について学んでいく小中学生を対象にしたゲームです。公職選挙法等の改正(平成28年施行)に伴い、年齢満18年以上満20年未満の者が選挙に参加できるようになりました。若者の投票率が低下している今だからこそ、若い頃から選挙等の政治に参加する意義と責任について学び、関心を持つことで投票率の低下を防ぎ更には上昇させることが出来ると思います。このゲームは、4つのステージからできています。

第1のステージでは選挙等には特に関連せずに具体的には小中学校の社会科で学ぶレベルの問題が出題されます。このステージの最後には確認テストがありそのテストに合格しないと次のステージに進むことが出来ません。

第2のステージは、選挙に関する一般的な問題です。正解するとポイントがもらえ、貯まると第3ステージに進めます。中学、高校で学ぶ選挙に関する問題が出題されます。例えば、衆参両議員の任期や定数などです。

第3ステージは、デバイス上で模擬選挙を行います。投票所での受付の仕方や投票用紙の書き方などをクイズ形式で学びながら投票を完了させます。

最終ステージでは、第2、第3ステージで得たポイントを使い、仮想空間で選挙に立候補して当選を目指します。ポイントを使って様々な選挙活動を行うことができます。選挙活動の内容により必要なポイント数が異なります。例えば、manifesto作成(3P)、poster作成(500枚で1P)、選挙カーのレンタル(大2P・小1P)、演説(町中2P・駅前3P)などにより、選挙活動レベルがあるポイントまで達すると見事当選することができ、国政に参加して社会をより良いものに変えていくことが出来ます。

このゲームを通じて少しでも、選挙に関心を持ってもらえれば、日本の政治が変わるでしょう。また、その変化が、市民の住みやすい社会へとつながることを期待します。